

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点 外堀通り－3



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」と歩きました。

現在は「外堀通り」を歩いています。写真上右は外堀通りの道路名標識（都道 405 号線）です。外堀通りは東京駅八重洲中央口前交差点を起点・終点として、一部の区間は江戸城の外堀に沿って時計回りに一周する延長約 13 km の道です。前は虎ノ門交差点先から市谷見附交差点まで歩きました。

今回はその先の神楽坂下交差点から起点・終点の東京駅八重洲中央口前交差点まで歩きます。写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しています。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関利用の代表例です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[神楽坂下交差点] 新宿区神楽坂一丁目

最寄駅 JR 飯田橋駅



神楽坂下交差点（写真上左）で左は神楽坂通りで善国寺方面、右は牛込橋を渡り、飯田橋駅方面の早稲田通りです。写真上右は牛込橋からの外堀です。

写真下は牛込橋を渡った角にある江戸城外堀跡「牛込見附跡（牛込御門）」です。



牛込見附は、田安門を起点とする「上州道」の出口といった交通の拠点であり、周辺には楓が植えられ、秋の紅葉時にはとても見事であったといわれています。各地の見附の石垣は各大名によって建設され、石には大名の名が刻まれています。

[飯田橋交差点]

新宿区下宮比町

最寄駅

J R

飯田橋駅

飯田橋交差点（写真下右）で左が大久保通り（都道 25 号線）の起点、右からは目白通り（都道 8 号線）と交差します。外堀通りは直進、左から来た神田川が右脇を流れます。歩道橋の上から飯田橋交差点を撮りました。



左側には小石川後樂園東門（写真下左）ですが、閉鎖中で出入口は西門です。更に進むと東京ドームシティ（写真下右）があります。

小石川後樂園は徳川水戸家の屋敷跡で四季を通じて花が楽しめます。

寅さん歩 82 東京の紅葉・黄葉—1、寅さん歩 151 東京の紅葉・黄葉—4、寅さん歩 313 東京の桜 2020、寅さん歩 36 江戸・東京の祭—25 花の祭—7 をご覧ください。

東京ドームシティは後樂園球場の跡地に造られた東京ドーム、ホテル、アトラクションなどの施設を持つ都市型複合レジャーランドです。

寅さん歩 317 東京の博物館めぐりー50 文京区ー1（野球殿堂博物館）をご覧ください。



〔水道橋交差点〕 文京区後楽一丁目 最寄駅 JR 水道橋駅

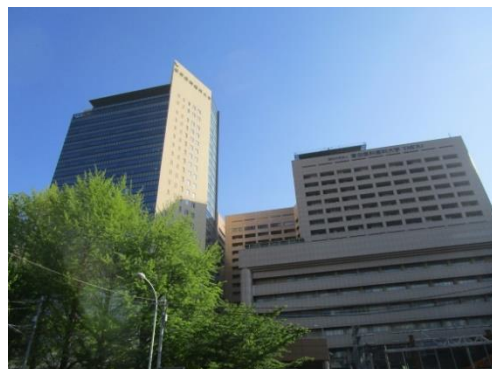
水道橋交差点（写真下右）で白山通り（都道 301 号線）と交差します。交差点脇を流れる神田川が千代田区と文京区の境です。



外堀通りの神田川を歩くと、「お茶の水分水路の碑」（写真下左）、「神田上水の懸樋（掛樋）跡の碑」があります。江戸時代から神田川に木製の樋をかけて神田上水の水を神田、日本橋方面に供給した、日本最古の都市水道です。



左側には順天堂大学（写真下左）、東京医科歯科大学（写真下右）が附属病院と共にあります。右側はＪＲ御茶ノ水駅です。



〔聖橋と湯島聖堂〕



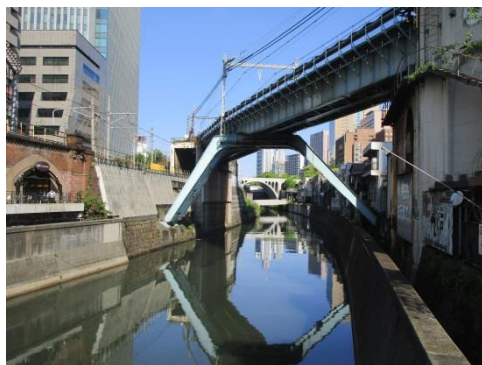
ニコライ堂と湯島聖堂を結ぶ聖橋（写真上左）をくぐり、昌平坂を下ると左側に湯島聖堂（写真上右）があります。早朝なので門が開いていません。

寅さん歩 20 東京之発祥地めぐり（学問・文化編 1）及び寅さん歩 121 江戸・東京の祭—47 江戸らしい祭—21（孔子祭）をご覧ください。

〔昌平橋交差点〕 千代田区外神田一丁目 最寄駅 ＪＲ 秋葉原駅

昌平坂交差点（写真下左）で本郷通り（国道 17 号線）と交差します。外堀通りは右折します。経路案内標識（写真右）が 250m 手前にあったので、うっかり直進してしまい戻りました。





写真上右は昌平橋から聖橋方面を撮影しました。

〔淡路町交差点〕 千代田区神田淡路町一丁目

最寄駅 東京メトロ 丸ノ内線 淡路町駅

淡路町交差点で靖国通り（都道 302 号線）と交差します。左へ行くと浅草橋方面、右へ行くと九段下方面です。



鎌倉橋交差点を左折、竜閑橋交差点（写真左下）を右折、竜閑橋ガードをくぐり進みます。



〔新常盤橋交差点〕 千代田区日本橋本石町三丁目

最寄駅 東京メトロ銀座線 三越前駅

新常盤橋交差点（写真下左）で江戸通り（国道 6 号線）と交差します。
常盤橋（写真下右）も改装されています。



〔呉服橋交差点〕 千代田区八重洲一丁目 最寄駅 JR 東京駅

呉服橋交差点（写真下右）で永代通りと交差します。 永代通りは起点の大手町交差点からは国道 1 号線で、呉服橋交差点からは都道 10 号線になるとの標識（写真下左）です。



呉服橋交差点から左側を歩きます。鉄鋼ビルの先を右に入ると丸ノ内トラストタワーがあります。タワー沿いに江戸城外堀の石垣が再現されていました。写真下左の石垣の先に鍛冶橋門（東京駅八重洲南口）周辺で発見された堀石垣を使用し、外堀をイメージし、ほぼ当時の形で積み直されています。石垣石の表面には、築かれた当時の石を割った矢穴（やあな）（写真下右）が見られます。



その先は 1806 年（文化 3 年）から幕末まで北町奉行所が置かれ場所です。名奉行として有名な遠山左衛門尉影元（遠山の金さん）は 1840 年（天保 11 年）～1843 年（天保 14 年）まで当所で執務をしていました。平成 12 年からの発掘調査で上水道や井戸、屋敷境の遺構が発見され、石組の溝が復元（写真下左）されています。



いよいよ起点・終点の東京駅八重洲中央口前交差点（写真上右）に到着です。時計回りに一周しました。江戸城の外濠について多くのことを学んだウォークでした。

〔バーチャルウォーク途中経過〕

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースが FWA ホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 2400 km の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）の芭蕉庵を出発、2022 年 7 月 10 日須賀川から 71 k m（江戸深川から 439 k m）に到着しました。
あと 19 k m で福島です。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。
また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。
歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝